

毎号、研究員をクローズアップして、業務内容や仕事に対する思いをご紹介します。



Vol. 02

情報技術グループ
副主任研究員

阿部 真也

IPA 情報セキュリティスペシャリスト。岩手大学大学院を修了後、民間企業勤務を経て都産技研に入所。趣味は旅行とギター演奏。

おすすめの場所

食堂



本部5階の食堂のおすすめはチリンランチ!

都産技研マスコットキャラクター
チリン®

助けを求められたら必ず手を貸し、日々の研鑽を積んでいきたい

多様なデータを組み合わせ活用できる情報に

私は、大学・大学院で情報工学を専門に学んできました。現在はその経歴を生かし、インターネットを使った「情報の利活用」に関する研究開発を担当しています。

そもそも私がインターネットに興味を持ったのは、中学生の頃でした。欲しい情報がその場で入手できるのが面白くて、父親のパソコンを夜中にこっそりいじってインターネットでいろいろと検索していたんです。

当時、インターネットをやっている友人はほとんどいなかったの、自分だけが知っている情報も多く、周囲には物知りな子だと思われていましたね。ただし、まだインターネット接続がダイヤルアップの時代だったので、電話代が急激に跳ね上がってしまい、家族は大慌てでしたが(笑)。

専門分野である「情報の利活用」とは、インターネット上にあふれるさまざまなデータを組み合わせ、より便利に活

用できる情報として提供することです。ビジネスにおいて個別では活用できないデータも、複数のデータを組み合わせることによって有効な情報になるものもあります。例えば、電力会社で提供している電力の「需要量」と「ピーク時供給量」のデータに、他社が公開している「予想需要量」のデータを組み合わせることで、今後の電力対策に活用できる情報になります。

お客さまからの「阿部さんのおかげで」がやりがいにつながる

こういった技術をお客さまに活用いただくためには、お客さまのニーズをきちんと把握することが大切です。ご相談いただく方の業種は多種多様で、私も日々勉強が欠かせません。また、相談を受ける際には、なるべくきちんと対面でお会いして、2回以上しっかりお話を伺うようにしています。そんな風にして進めた案件で、「阿部さんのおかげで、売り上げが上がりました」などと具体的な成果のご報告をいただけた時は、本当に



研究員同士でアイデア出し。

友人の披露宴のための練習。音量は控えめに…。



うれしく思います。

いつも心に留めているのは、「自分の専門領域内のことで助けを求められたら、必ず手を差し伸べる」「専門領域を広げるための自己啓発を怠ってはいけない」という上司からの言葉です。これからもこの言葉を忘れずに、日々研鑽を積んでいきたいと思っています。